野辺地高等学校通信

冀北の天地

NO.02
5月号
2024.5.24 発行

「つつみ込むように」

校長　小倉　民生

令和六年度が始まり、早いもので一か月余りが過ぎました。新たに三十三名の新入生を迎え、全校生徒九十七名を乗せて港を離れた船は、穏やかな内海から、いよいよ大海原へ漕ぎ出そうとしています。日々の生活の中には、満天の星空の下、鏡のように澄んだ水面を静かに進む心穏やかな日もあれば、荒波に揉まれ、満足に食事や睡眠をとることができない辛い日もあることでしょう。そんな日常における「全て」の経験が、これからの人生を生き抜いていく糧になるということを私たちは心に留めておく必要があります。多くの経験を積み重ね、生徒全員が、一回りも二回りも逞しく成長し、来年の春、再び穏やかな港へと戻って来られるよう、私たち教職員も共に頑張っていきたいと思います。

四月九日に行われた始業式で、私から生徒に向けて、『一年生は「自己発見」、二年生は「自己探求」、三年生は「自己実現」の一年にしてください』と話しました。

一年生は、今まで気づかなかった新たな自分の一面を見つけてほしい。可能性は無限に広がっています。二年生は、自分自身をより深く掘り下げ、自らの器を今よりも大きくする努力を続けてほしい。部活動やその他の課外活動、趣味に没頭できる贅沢な時間が、君たちの前に溢れています。三年生は、思い描いている卒業後の自分に出逢えるように、着実に歩を進めてほしい。未来の自分が、笑顔で君たちのことを待っていてくれるはずです。

以上のような思いを込めて、それぞれの学年の生徒に語りかけました。

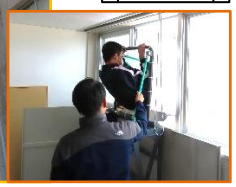
この一か月、部活動や地域のボランティア活動に励む生徒の姿や、生徒に対して誠実に向き合う先生方の様子を見ることができました。また、保護者及び地域の皆さんが本校の教育活動に深く関わっていることを知ることもできました。これからも、生徒一人一人の元気な姿に出会えることを期待するとともに、私たち周囲の大人が、それぞれの立場で、「つつみ込むように」生徒の成長を後押しできればと思います。

最後になりますが、今後とも、野辺地高校へのご支援をどうぞよろしくお願いします。

避難訓練①　5月17日（金）

今年度1回目の避難訓練を行いました。家庭科室からの出火を想定して避難を実施しました。今回は有志生徒による三階からのシューター訓練を行い、使い方を確認しました。

避難訓練により、避難経路や避難時の注意点などを確認



インターンシップマナー講座　5月13日（月）

本校生徒会館において2学年を対象にインターンシップマナー講座が行われました。ジョブカフェあおもりより講師をお招きし、インターンシップに臨むためのマナーなどを教えていただきました。

情報モラル教室　4月24日（水）

本校第二体育館において情報モラル教室が行われました。生徒会が作成した動画やスライドを活用しながら、情報モラルについて生徒全員で考えました。事例に関して生徒同士意欲的に意見交換を行い、真剣に取り組んでいました。

学校に関して、質問等ありましたら野辺地高等学校　教頭佐々木までご連絡ください

０１７５（６４）２２６６

←HP
ご覧になれます